



去る10月3日（水）に八女地区新人大会が行われ、本校の卓球部男女、野球部、バレー部が参加しました。

結果は、学校メールでもお知らせしていましたが、団体では、卓球部女子が優勝、男子が準優勝で、野球部、バレー部は残念ながら予選で敗退しました。

個人では、卓球男子の谷川輝さんが優勝、卓球女子の平島麻椰さんが優勝で堺田由貴香さんが第三位という結果でした。筑後地区大会に出場する卓球女子団体は、11月17日（土）に行われる筑後地区新人大会に出場します。学校、八女地区の代表として、精一杯頑張っしてほしいと思います。

八女地区新人大会、その後！

八女地区新人大会では、野球部、バレー部は思うような結果を出すことができませんでした。あくまで「新人」戦ですので、チームの弱点や改善点を明確にして今後に生かすのが目的です。したがって、その後の練習をどのように工夫していくかが鍵となります。

そこで、野球部、バレー部での練習の工夫を部長に取材してみました。

野球部

新人戦では、エラーが多く大量失点につながった。クリーンヒットは少なかったため、エラーを防げればいいゲームをすることができると思う。そこで、捕り方や投げ方の基本からやり直している。

地味な練習で飽きるが、コツコツとし続けることでゲームが成立することにつながると思う。あきらめずに頑張っていきたい。



バレー部

新人戦では、声が出ていない、サーブミスやサブカットミスが多かった。そこで、まずはサブカットがセッターに戻るようになるために、毎日のパス練習時に、相手の位置を確認することをより心がけた練習を行っている。

また、単純なサーブミスが出ないようにお互いに声を掛け合いながら練習のレベルを上げていきたい。



本校で常時運営している運動部活動は休部中の剣道部を加えても4種類しかありません（陸上部、駅伝部は兼部が可能なため常設部として扱っていません）。その少ない選択肢の中で、本校の部活動生は、運動の特性に応じた自分の能力を磨き、練習しています。

これからの社会を生きる重要な能力として、キャリア教育では「汎用的能力」をあげています。これは簡単に言えば、経験したことのない環境に適応し、自分を磨く能力です。限られた部活動の中で、自分で選択して入部し、自分なりの最善を尽くす営みは、自分のキャリアを形成していく上で大変有意義な経験となることと思います。



10月8日（月）の体育の日の振替休日に行われた八女市民コンサートに、本校の吹奏楽部が出場しました。一流のプロに触れたせいか、最近の吹奏楽部の音色には素人耳にも気持ちがかもっているように聞こえていましたが、教頭先生曰く、「感動して涙が出そうだった」とのことでした。

その言葉を裏付けるように、翌日の10月9日（火）の午前中に、町内のご年配の方が本校においでになり、次のことを話していかれました。



「自分は光友中学校の卒業生で、毎日交差点に立って立花小中学生の登下校を見守っています。毎日あいさつを交わしている子のステージでの立派な姿を見ることができて嬉しかったです。演奏も素晴らしくて、もっと長生きをして、今後も演奏を聴くチャンスをつかっていきたいと思います。今日はそんな気持ちにさせてもらったお礼を述べに来ました。」

丁寧にわざわざ感想を伝えに来ていただいた上に、「吹奏楽部の活動に使って下さい。」とお志までいただきました。音楽の素晴らしさ、力を感じた出来事でした。

